

プール・武道場

プール

- 昭和57年 4月23日 プール起工
- 7月20日 プール竣工
- 7月23日 プール開き
- 9月 1日 校内水泳大会



建設中のプール



待ちに待った
プールできあがる



全学年合同の水泳大会
(校内水泳大会は平成10年度
を最後に実施されていない)

武道場

- 昭和60年 7月24日 武道場起工
- 昭和61年 1月31日 南武館竣工引き渡し検査
- 2月 8日 南武館竣工記念柔剣道大会



看板の彫刻をされた

稲垣勝男第5代校長



剣道場と九十八畳の正式柔道場一面です。男子の柔道授業、部活動、学年集会和多目的に使用し、三中学校の柔剣道大会を行う予定であります。

総工費約六千万円、和様を思わせる寄せ棟の堂々たる武道場です。広さは四百九十五平方メートル、ピリジャン色の大屋根が冬の陽をいっぱい浴び、光り輝いています。待望の武道館の外容がほぼ完成し、内装の段階に入ってきました。

武道場完成近し

稲垣 勝男

「南武館」の名前の由来

※生徒会が生徒(保護者)と職員から募集(応募総数94名 184点)
※7月10日〆切

「南武館」と応募した人

【生徒】 池田みどり 土井 恵
鈴木 健司 加藤 友亀
池田 滋幸 田村 宗久
榎本 真

【職員】 小柳津敏男

※7月20日(土)終業式で表彰

武道館開き

二年 生田 啓一

演武も終わり、残り試合であった。「おまえ達、優勝せんと使わせんぞ。」と言われてるし、地元校、それに加えて沢山の応援者。これは勝たなければと思った。まずは、竜北対知中。敵の弱点をみつけようと、選手の鋭い目。結果は竜北の勝ちであった。みんなの声えんをうけての南中対竜北戦。いつもは苦戦する竜北に弱点をみつけたのか快勝であった。

PTA新聞「南風」
第16号より →
柔剣道大会の感想

↓「南武館」竣工式



前列左から3人目永田桂三副会長、加藤崇第2代校長、小川善一P会長、後列右端鬼頭竹二郎第3代校長。看板は永田様により完成。



竣工記念柔剣道大会

写真中央の扁額「精進」は、教育長戸軽功次先生が揮毫なされたもの。知立ライオンズクラブより寄贈



永田桂三氏のご長男によって修復された看板(平成20年8月)